

令和3年度 地方創生「推進交付金」事業の検証について

(各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

区分	交付対象事業の名称	概要	総事業費 単位：円	交付金 単位：円	事業内容	事業費 単位：円	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
単独	しほろ創生 賑わい創出事業	<p>①土幌高校の学習・研修と連携し、町内の小規模な6次産業の取り組みを支援・活性化していく組織や事業推進主体を設立し、若年者及び町外からの人材確保と技能・能力向上の取組を行い雇用の創出を図る</p> <p>②専門的知識及び技能を持った人材が、新しい加工技術やパッケージ・販売方法を活用し新商品(特産品)を生み出す。</p> <p>③事業主体組織が「新・道の駅」と市街地空き店舗、空き地等を活用し、試作品販売の場や起業チャレンジショップを設置し、販売力強化の支援、地域内経済活性化の環境整備を行う</p> <p>④移住・定住相談、観光窓口を一元化し利便性の向上と迅速な対応を図り地域づくりの推進を行う</p>	24,935,694	12,840,467	<ul style="list-style-type: none"> 企業と高校、大学等との連携事業(商品開発・研修)・企業と高校の連携事業(先進技術活用研究) しほろ創生賑わい創出事業支援委員会負担金 1) 都市圏販路拡大フェア等への出店・参加費 しほろ創生賑わい創出事業支援委員会負担金 2) 雇用の創出(会社職員の人件費等) しほろ創生賑わい創出事業支援委員会負担金 3) 人材育成・加工商品開発事業 	8,359,200	指標①	土幌高校が主体的に行う商品開発研修やマーケティング研修等の受講修了者数	2	人	R4.3	36	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	なし	事業の継続	土幌高校と(株)Cheersの協同によるオンラインストア継続。民間企業等との連携による商品の企画・開発・製造・販売。ふるさと納税返礼品等として土幌高校産生乳を使用したアイスクリームの製造・提供。今後も新商品開発等マーケティング学習を継続して実施する。
							指標②	新たに開発する商品(加工特産品含)数	2	個	R4.3	2					
							指標③	受講修了者が地元企業で採用された人数及び創業者数	2	人	R4.3	2					
							指標④										
							指標⑤										
広域	北海道十勝地域×東京台東区・墨田区連携～大地のチカラ×江戸のチカラ 関係人口創出プロジェクト～	<p>①台東区・墨田区における江戸の食文化を継承する企業や食育推進団体と十勝地域(18町村)の農産品事業者等が連携し、「特産品」の開発等による十勝産品の新たな価値創出や、食育推進・健康増進プログラムの開発を進める取組みを展開する。</p> <p>②十勝地域で体験できる滞在型プログラムを開発するとともに、健康増進プログラムの開発、連携・相互交流を通じた新たな価値創出に向けた取組を行う。</p> <p>③両地域の新たな関係創出に向けた戦略を検討するための委員会を設置し、有志企業や生産者、クリエイター等の参画を図り、関係人口の創出・拡大に向け戦略的・効果的に事業展開を継続的に推進するとともに、委員会を格とした推進主体の構築をはかる。</p>	842,000	421,000	<p>北海道十勝地域×東京台東区・墨田区連携～大地のチカラ×江戸のチカラ 関係人口創出プロジェクト～ 事業分担金</p> <p>・江戸の伝統を活かした十勝産品による新しい食文化の創出事業</p> <p>・十勝・東京スポーツ・アウトドア交流拡大事業</p> <p>・北海道十勝地域と東京たいとう・すみだ戦略的交流事業</p>	842,000	指標①	観光消費増加額(十勝地域の額、台東区と墨田区の合計額)	143	億円	R4.3	-392	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	なし	事業の継続	十勝地域及び台東区・墨田区と連携し、関係人口を創出する取り組みを継続実施する。
							指標②	両地域において企業が連携して開発した健康増進や滞在型のプログラム、商品の件数	1	件	R4.3	0					
							指標③	両地域の連携事業へ参画した個人のうち継続して参画意欲がある人数	50	人	R4.3	131					
							指標④	イベント参加者へのアンケートにより「十勝地域と台東区・墨田区の連携が大切とする住民の割合(増加分)」	2	%	R4.3	18.9					
							指標⑤										
広域	交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大推進事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ地域内の外出機会の増加や観光客数の増加など早期回復に向け、令和3年3月に予定している「とかち帯広空港」の民営化により道内他空港とのネットワークが強化されることなどを見据え、地域住民に真に必要な生活・交通サービスの改善や旅行者動態を踏まえた移動利便性を高めることで、地域住民の外出機会の創出や観光客の広域周遊等を後押しすることにより、持続可能な地域交通を確保し、関係・交流人口の創出・拡大による交流の活性化やまちへの定着化、管内の賑わいや活気の創出を目指す。</p>	500,000	247,506	<p>①生活交通サービスの改善による持続可能な地域住民の足の確保</p> <p>②交通便利性向上による観光客や移住者の関係・交流人口の拡大</p>	500,000	指標①	十勝管内の乗合バス・タクシーの人口千人当たりの年間利用者数	22,272	人	R4.3	実績未定 ※十勝総合振興局にて集計中	測定なし	測定なし			
							指標②	十勝管内への観光入込客数	10,460	千人	R4.3						
							指標③	十勝管内へのちよっと暮らし滞在日数	14,091	日	R4.3						
							指標④										
							指標⑤										

令和3年度 地方創生「拠点整備」交付金事業の検証について

(各交付対象事業の重要業績評価指標 (KPI) の実績値等)

区分	交付対象事業の名称	概要	総事業費 単位：円	交付金 単位：円	事業内容	事業費 単位：円	本事業における重要業績評価指標 (KPI)				本事業終了後における実績値		外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について		
							指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
単独	移住イノベーション「二地域居住促進施設整備」事業	<p>都市と農村を行き交う二地域居住を基軸に取組み、仕事・生活コスト・地域コミュニティ・医療・福祉などの情報と、商工会不動産と連携・共有し(株)Cheersが総合的に集約・一括提供し、ニーズとのマッチング・相談や移住後の生涯フォローを行う。また移住支援計画等を策定し、推進交付金事業である農業先端技術・食品加工人材の育成を図り地元就労を促進する。</p> <p>平成30年3月 完成 平成30年4月1日～運用(入居)開始</p>	76,292,810	34,338,000	<p>【農園付き住宅】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期二地域居住を基軸に次の利活用策を実施 ①都市と農村を行き交い、移住定住の不安や懸念を解消する ②人材育成研修・IoT推進ラボ事業等に参加協力する ③地域企業との雇用・ビジネスマッチングに参加する ④行政サービスの体験や地域行事に積極的に参加する(概要) ・施設一戸面積 70㎡程度(4棟) ①木造 キッチン・トイレ・バス・リビング・洋室・オフィススペース・照明・冷暖房等完備 ②農園(畑)面積 100㎡程度(4圃場) 	1,414,398	指標①	サテライトオフィス実践者数	4	人	R4.3	0	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	なし	事業の継続	①㈱SunVillageとの委託契約により管理運営を実施し、移住定住施策の推進を図る ②土幌高校との連携により先端農業の研修を実施
							指標②	ビジネスマッチング者数	4	人	R4.3	0					
							指標③	転入者数	280	人	R4.3	246					
							指標④										
							指標⑤										
単独	土幌町 次世代産業研究開発・研修拠点施設整備事業	<p>・新たな食育の場の創造、農産物の付加価値を高めるために必要な加工技術の実践や製品の研究開発をおこない、「ものづくり」を通じた「人づくり」をコンセプトに、旧：道の駅施設を再利用した新たな農畜産物加工施設を整備し、農業者・住民、地域間交流者が「食」をキーワードに連携し地域商品を開発する創造拠点として活用することにより、地域産業活性化と経済発展を目的とする。</p> <p>平成31年3月 完成 平成31年4月1日～運用開始</p>	216,020,925	73,955,000	<p>【土幌町次世代産業研究開発・研修拠点施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を活用し農業者、中小・小規模事業者、地域住民、地域間交流者が連携し高付加価値商品の研究開発及び技術研修によるキャリア人材を育成し輩出する。またIoT/ICT技術を活用し製造工程効率化・作業省力化、生産量の拡大、品質向上などに関する調査、研究開発をおこない「生産性・労働性」の改善を図る拠点施設 ・市街地への入口である「旧：道の駅」の再利用、空き店舗対策、地域活性化対策 <p><施設概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積602.64㎡ ・木造 畜産加工研修室、農産品加工研修室、乳酪品加工研修室、パーティールーム(一般研修)、事務室、冷凍庫、食品庫、調理庫、管理庫、物品庫 	216,020,925	指標①	付加価値をもった新商品の販売額	8,000	千円	R4.3	2,386	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	なし	事業の継続	㈱Cheersとの委託契約により管理運営を実施し、事業の推進を図る
							指標②	付加価値をもった新商品数(加工特産品含む)	3	品	R4.3	3					
							指標③	商品の研究開発・研修受講修了者数	2	人	R4.3	4					
							指標④										
							指標⑤										